

「あいだ」が動いて、
時代が変わる

AIDA

HYPER
EDITING
PLATFORM
[AIDA]

ハイパーエディティングプラットフォーム [あいだ]

座長 | 松岡正剛

運営 | 編集工学研究所

www.eel.co.jp/aida

Season3 日程(予定)

- 第1講 2022年10月15日(土)
- 第2講 2022年11月12日(土)
- 第3講 2022年12月10・11日(土・日)
- 第4講 2023年1月14日(土)
- 第5講 2023年2月11日(土)
- 第6講 2023年3月4日(土)



HYPER-EDITING PLATFORM

AIDA

超編集プラットフォーム

異才・哲人・名匠が集う

「あいだ(AIDA)」から世界を見る

この世界は固定化された属性ではなく、動的な関係性、つまり「あいだ」の諸相の上に成り立っています。情報と生命のあいだ、生と死のあいだ、自己と他者のあいだ。Hyper-Editing Platform [AIDA] は、「あいだ」に着目し、複雑なものを複雑なままに捉え、動的な世界を相手にしていく力を育てる場です。

ユニバーシティからプラットフォームへ

2005年、三菱商事とリクルートの有志メンバーの発起により、ハイパーコーポレートユニバーシティ[AIDA]が誕生。以来、每期テーマを変えながら、15年間「あいだ」をめぐるしてきました。そして2020年秋、知を授かる「ユニバーシティ」から、知を創発し合う「プラットフォーム」へと変貌を遂げました。

激変の時代を生き抜く編集力

先行き不透明な時代、自ら道を切り開き、新しい社会を構想していくリーダーが求められています。既存の枠組みを越えて意味や価値を結び直す編集力と、前提を捉え直す仮説思考、そして自らの指針となる価値軸や世界観をそれぞれの内側に育み、共に研鑽しながら新しい社会像を構想していきます。

多様な知性と複層的なプログラム

座長は松岡正剛。その元に集うボードメンバーやゲストが、最先端の話題や本質的な論点を持ち寄ります。座衆(参加者)も膝を交えて喧々諤々の議論を繰り広げるライブセッション、チームで対話と思索を重ねるオンラインプログラムを組み合わせ、超実践的なリベラルアーツを獲得していく半年間です。

過去期実績

Season1 生命と文明のAIDA 2020.10～2021.3

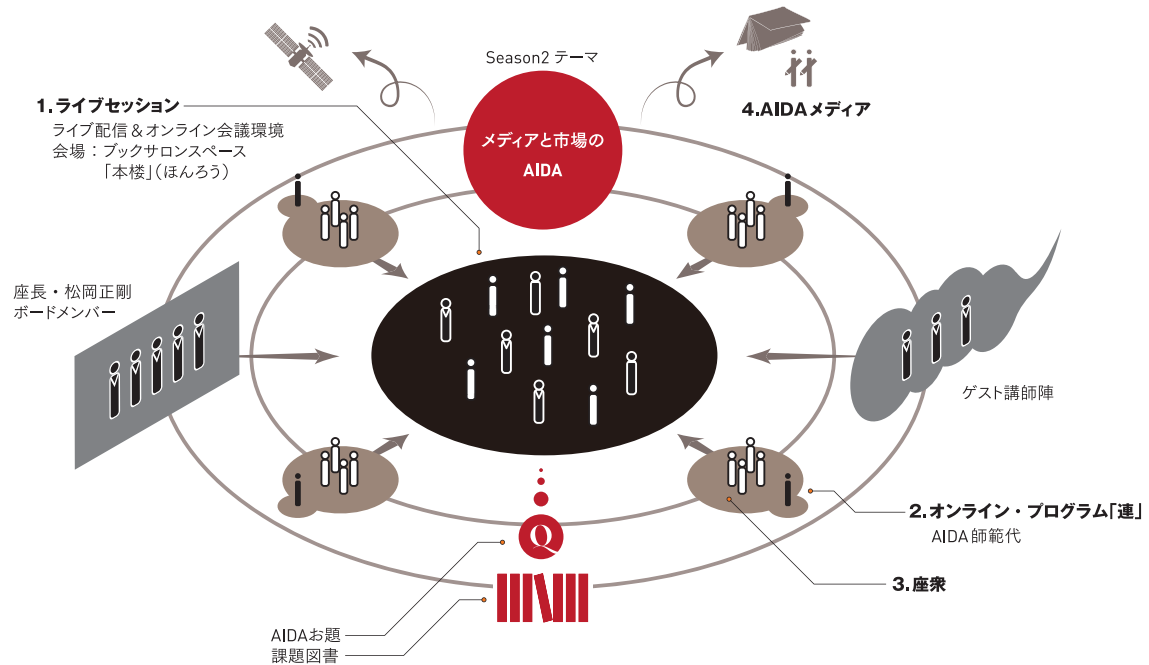
コロナウィルスの世界的パンデミックで問い直された、社会のあり方や個人の生き方。「生命」の本来と「文明」の起源に立ち戻り、新たな社会像を模索しました。

- 第1講 ヤバい日本、ヤバい文明
- 第2講 ウイルスと文明のあいだを考える(ゲスト：石 弘之)
- 第3講 大いなる文明と小さきものの文化(ゲスト：隈 研吾、荒俣 宏)
- 第4講 生命の進化、文明の進化(ゲスト：倉谷 滋)
- 第5講 「持たざる国」日本の行方(ゲスト：片山杜秀)
- 第6講 「生命と文明のAIDA」をどう見るか



STRUCTURE

月に一度、ゲストとボードメンバー、参加企業からの座衆、そして座長である松岡正剛が本楼に集まり、リアルセッションを開催します。また、毎月の講義と講義のあいだにはゲストから課題が届き、座衆は「連」と呼ばれるオンライン・コミュニティでAIDA師範代の指導を受けながら、課題に取り組みます。随時配信されるメディアやコラムで、学びは重層的に深まっています。



1. ライブセッション

編集工学研究所の「本楼」に集い、議論を交わす月1回のセッション。ライブ配信 & オンライン会議環境を整え、リアル・バーチャルのハイブリッドな場を展開します。

2. オンライン・プログラム「連」

7～8名ずつ「連」と呼ばれるチームに分かれ、AIDA師範代（コーチ）のもと、オンラインでお題に取り組みます。ライブセッションの前後も、交わし合いを通して、学びを深めます。

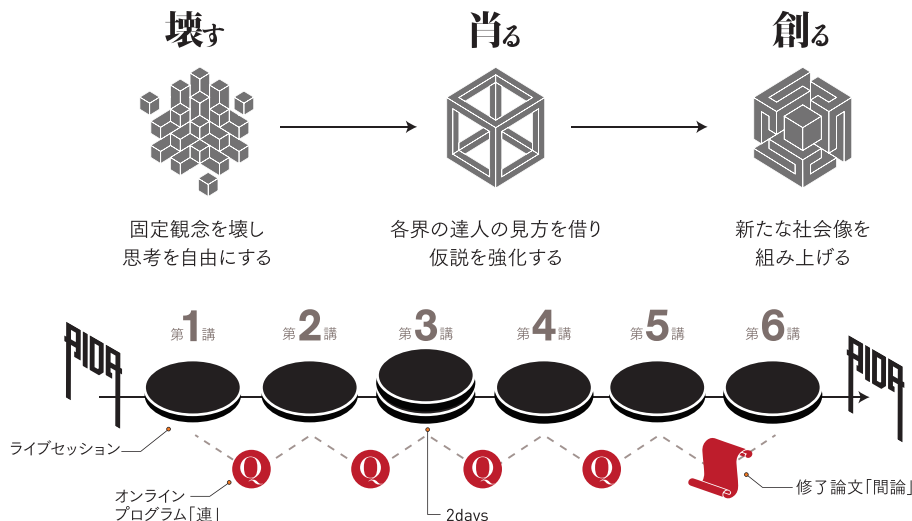
3. 座衆（ざしゅう）

リクルート、三菱商事をはじめ大手企業からベンチャーまで、多種多様な組織から次世代のリーダー層が参加します。一座の担い手として、「受講生」ではなく「座衆」と称します。

4. AIDAメディア

ライブセッションの講義録やボードメンバーへのインタビューを記事化して共有。リアルタイムの編集により、プラットフォームの共同知として充実を図ります。

PROGRAM



[AIDA]では、毎シーズン「〇〇と〇〇のAIDA」という通しテーマを設け、その元にゲストを招き、「お題」を折り込みながら思索を深めていきます。座衆は全6回のライブセッションを通して「壊す・肖る・創る」の3段階の変容プロセスを通り、各々の「編集的社会像」を構想します。まずは固定観念を壊し、次いで先達の知恵に肖り、最終的に新たな社会像を創り上げていくのです。「問論」を携えて門を出る頃には、自ら道を切り拓くリーダーとして新たな景色を手に入れます。この行程すべてに、オンライン・プログラム「連」で、AIDA師範代が細やかに伴走します。



編集工学者 松岡正剛

AIDAから世界を捉え直す

AIDAとは「間」のことです。日本文化にとって「間」は根本的なコンセプトですが、いまや文明史にとっても何かと何かのAIDAに注目することは欠かせない視野になっています。AIDAを議論するには編集的なアプローチが肝要で、つねに行ったり来たりする思考が求められます。「あべ」(彼辺)と「こべ」(此辺)、「ちぐ」(鎮具)と「はぐ」(破具)を自在にとりかえられる方法に着目する必要があります。このAIDAプラットフォームは、21世紀日本こそが獲得すべき思想と展望を模索するために用意されました。さまざまなテーマが待っているのです、大いに躍動してください。

BOARD MEMBER



作家・元外務省主任分析官
佐藤 優



江戸文化研究者
田中優子



科学技術社会論研究者
佐倉 統



情報工学者
村井 純



社会学者
大澤真幸



メディア美学者
武邑光裕



ゲーム作家
山本貴光

多士済々のAIDAボードのメンバーは、全6回のライブセッションに関わりながら、シーズンのテーマをいくつもの視点から浮き彫りにし、「編集的社会像」を構想していきます。

GUEST LECTURER

石 弘之(環境学者・環境ジャーナリスト)＋山下英俊(環境資源経済学)／隈 研吾(建築家)＋渡辺 傑(隈研吾建築都市設計事務所)＋荒俣 宏(博物学者)

倉谷 滋(形態進化生物学者)＋入江直樹(進化発生学)／片山杜秀(思想史家・音楽評論家)

松村圭一郎(文化人類学者)＋小川さやか(文化人類学者)

宇川直宏(DOMMUNE)／河本英夫(哲学者)／池田純一(コンサルタント・デザインシンカー) ほか

シーズンごとのテーマにふさわしいゲストを、ライブセッションにお招きします。
当日はソロ講義のみならず、松岡座長との対談、ボードメンバーや座衆とのディスカッションに登壇いただきます。

参加企業

三菱商事株式会社／株式会社リクルート／ネットワンシステムズ株式会社／富国生命保険相互会社／キリンホールディングス株式会社／丸善雄松堂株式会社／Honest株式会社／アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社／株式会社ジェイテクト／税理士法人TAパートナーズ／社会起業大学九州校／株式会社ToBeings／株式会社中尾マネジメント研究所／中山倉庫株式会社／株式会社ユナイテッドビジョンズ ほか



詳細に関しては下記までお問い合わせください。
編集工学研究
Hyper-Editing Platform[AIDA]事務局(担当 佐々木)
Mail: aida@eel.co.jp TEL: 03-5301-2213
HP: www.eel.co.jp/aida